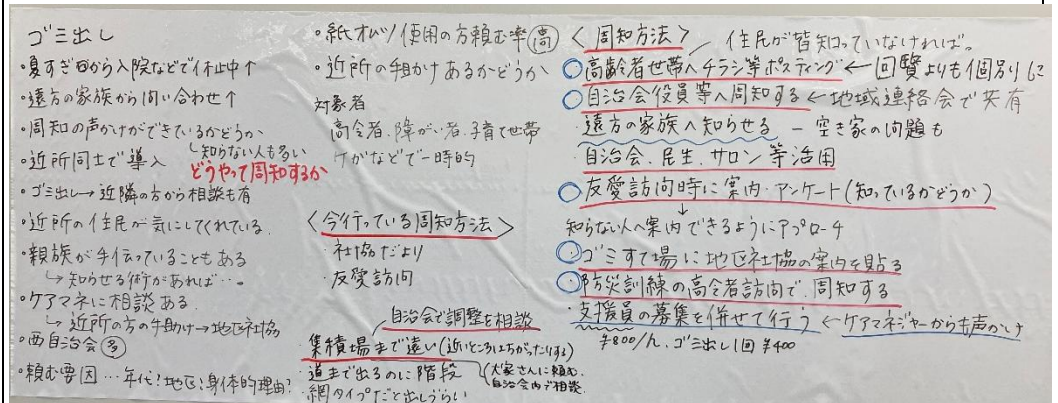


生活支援体制づくり協議体（地域包括支援センター和合担当圏域レベル）

開催報告書

<p>1 開催日時</p>	<p>令和7年10月27日（月） 9時30分 ～ 11時00分</p>
<p>2 開催場所</p>	<p>和合せいれいの里 研修センター</p>
<p>3 参加者</p>	<p>委員10名 関係機関18名</p>
<p>4 協議の内容</p>	<p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶 生活支援体制づくり協議体会長</p> <p>3. 意見交換・協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回の振り返り （事務局）前回の協議体の議事録、パワーポイントを用いてそれぞれの地区で出た意見を共有。 それぞれの地区で居場所・交流についての話しがされているため、Google My Mapsを用いて地区内のサロン、デイサービスなどの交流できる場を全体で共有。 ・ グループワーク※和合・住吉・富塚の3グループに分かれて実施 <p>【富塚地区】 （事務局） 家事支援に所属する委員が集計した家事支援事業の依頼項目・件数を自治会別にした資料を提示。ゴミ出しはリピートが多く、依頼軒数自体は多くはない。西自治会からの依頼が多いが、それぞれの地域で声があるか。</p> <p>（委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実際のゴミ出しの依頼は入院などにより少なくなってきている ・ 依頼の特徴は、遠方の家族からの問い合わせが多い ・ 実際に活動しているのを見て依頼している方の近隣からの相談もある ・ 近所の方が比較的気にかけてくれているところもある ・ 親族が手伝ってくれることもある ・ ケアマネとして関わっている方の中には、近所の方が協力してくださっていたことや毎回近隣の方に頼むのは大変なため地区社協に依頼したこともある ・ 依頼している要因はなにか？年代か、地理的問題か、身体的理由か ⇒様々な理由があるが、比較的紙おむつを利用している方からの依頼が多い傾向にある。そのほかは障がいがあったり、けがなどをして一時的に支援が必要になったりする方からの依頼も多い。 ・ そもそも家事支援自体を知らない方が多いのではないかと ⇒現在行っている周知方法：地区社協だより、民生委員児童委員による友愛訪問 〈今後の周知方法〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者世帯へのポスティング ⇒北自治会でポスティング、公民館への掲示を検討して下さることとなる ・ 自治会役員等へ周知する ⇒自治会の会合で周知

- ・年末に行われる地区社協歳末福祉事業で、アンケートを行うがその中で「家事支援事業を知っているか」項目を入れる
- ・ゴミ捨て場にチラシを掲示する
- ・防災訓練の際に周知
- ・家事支援事業利用促進の周知だけでなく支援員の募集を併せて行う。
ケアマネからも利用者宅で家族などに支援者募集も併せて声掛け可能。
- ・近くに集積所があっても班が違うから出せない、という声もある。
⇒自治会によっては相談して柔軟に対応してくれるところもあるため相談してみるのがよいのではないかな。



【住吉地区】

“地域特徴”

- ・高齢化率はそこまで高くないが、若年層と高齢者が混在している
- ・社会資源の格差がある
- ・若年層の入れ替わりが多い
- ・もともと住んでいる方同士のつながりがある
- ・困ったときに手を上げにくいではないか

(事務局) Google My Mapを使って地域の居場所・交流ができる場所について話しを進めていく。

(委員) やわらぎの会、元気体操、ひよりカフェがある

(事務局) マップ上では住吉会館、周辺での活動はあるように見えるがそのほかの場所ではどうか。

(委員)

- ・青少年の家では地区社協のスポット的な活動が行われている
- ・市営住宅(遊歩道近辺)でもお花の活動やサークルが行われていたが、トラブルもあり、今は手放している
- ・カトレアサロン(カトレアマンション)は、高齢化率が高い、近くにバス停やスーパーがある
- ・サンガーデンでは土曜日に集まりを行っている。高齢化率が高く坂があるため外出困難という声もある
⇒意見が出たような場所を活用していく?
⇒城北高校～中央警察所(住吉5丁目)はバス停やスーパーまで距離があり生活が大変

同じ住吉内でも社会資源の格差がみられる

<今後の展開>

学校との連携

- ・自治会長と学校とのつながりが太い
- ・学校の立場に立ったとき、何が出来るか
- ・住吉のイベントに子どもたちが練習してくれたことを披露してくれる
- ・歳末のボランティア活動では子どもたちも協力してくれている
- ・静岡大学の学生が浜松まつりの写真を撮ってくれる

住吉5丁目にポイントを当てていく必要がある

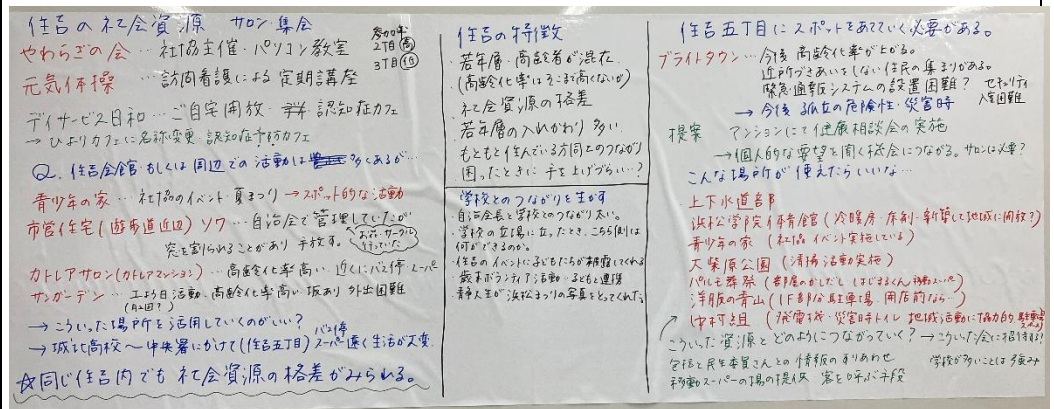
・ブライタウン住吉は、今後高齢化率が上がっていく。近所付き合いをしない住民の集まりがある。緊急通報システムの設置困難？マンションのセキュリティがあり気軽に入ることができない。今後災害時など孤立の危険性がある。

⇒マンションにて健康相談会の実施をするのはどうか？

個人的な要望を聞く機会につながるのでは、サロンは必要かどうか
こんな場所使えたらいいなと思う場所

- ・上下水道部、浜松学院体育館、青少年の家、大柴原公園、パルモ葬祭、洋服の青山、中村組

⇒どうやってつなげていくか



【和合地区】

(事務局) Google My Mapを見ると、高台協働センターでの活動が多く盛ん。和合北は活動が見えてこないが、なにかあるか。

(委員)

- ・和合北の方はデイサービスに行っていることが多い
- ・パーキンソン病専門のPDハウス浜松和合、特養、遠州みみの里、馬生会館、和合こども園、れんげ保育園などの子育て広場もある

⇒地区社協と施設の連携ができるとよい

・もともと南のほうが発展しており北は住宅地となっている

⇒自治会に加入しない世帯も増え、組長が大変になり情報も入ってこない。民生委員の対応が必要となってきた

・泉小学校のPTAがなくなり、寿和会(シニアクラブ)も入会者がすくなく消滅の危機

⇒自治会、地区社協、協働センターの役割を知ってもらえるとよいのでは

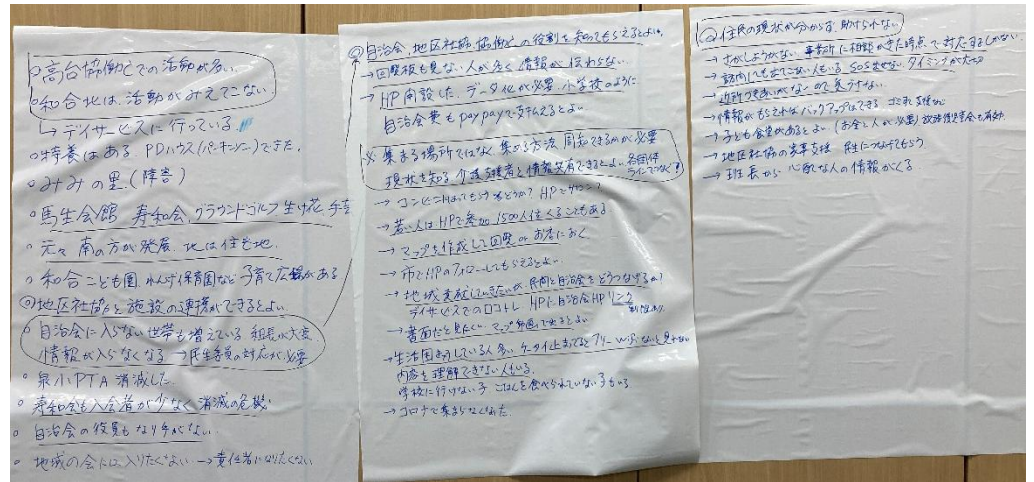
集まる場所ではなく、集める方法、周知ができるかが必要。そのために現状を知り、介護支援者と情報共有できるとよい。各団体とLINEでつなぐのはどうか

⇒周知方法について、コンビニに貼ってもらう、HPで参加、マップ作成、活動の様子を動画で紹介など

- ・住民の現状について、相談が来た時点で対応していく、訪問しても出てこな

い、SOS出せないためタイミングが大切、近所付き合いがないので気づけないため助けられない

- ・情報があればバックアップできる、子ども食堂があればよい



5. その他

地域包括支援センター和合より情報提供
 次回の生活支援体制づくり協議体について2月ごろ開催予定

6. 閉会

5 今後の見通し・必要な対応

【富塚地区】

・ゴミ出しの課題について、アイデアが出されたためその結果、効果、反応の共有。今後は、人材確保、遠方にいる家族にどのように情報を届けていくか検討していく。

【住吉地区】

・マンションなどで開催されている集まりや移動販売などの情報を集め、活用できそうな場所と活動をどうつなげていくかアイデア出しを行っていく。

【和合地区】

・地域の現状をどのように把握していくか、他団体との協力、情報発信方法について具体的に検討していく。